

特集

第 75 回国立病院総合医学会 in 仙台～幻企画覚書～

飛田宗重

国立病院機構米沢病院院長

(2022 年 1 月 4 日受稿、2022 年 1 月 4 日受理、連絡先：飛田宗重・〒992-1202 山形県米沢市大字三沢 26100-1 国立病院機構米沢病院 院長)

第 75 回国立病院総合医学会は仙台において、10 月 22 日(金) 23 日(土)の両日、当初は現地開催を予定しておりました。大会長は上之原広司先生(仙台医療センター)、副会長は永野功先生(宮城病院)と飛田(米沢病院)が務めることになりました。3 名とも昭和 57 年東北大学卒、同級生トリオです。2021 年は東日本大震災 10 年にあたり、今一度震災を振り返り、自然災害の脅威に対して防災と医療の観点から、意義深い大会となるよう準備を進めておりました。総合医学会のタイトル、「社会の大転換期における国立医療 救う、支える、育む、拓く～連帯と挑戦～」は、社会の大転換期においても不変の国立医療のミッションと歩むべき姿も現しています。

1 年延期となった、オリンピック・パラリンピックは復興五輪と位置付けられ開催準備が着々と進行する中、再びコロナが猛威をふるい始めた結果、当初の予定からだいぶ軌道修正を強いられました。

総合医学会も残念ながら WEB 開催となってしまいました。総合医学会は、次回東北地区で開催されるのが 12 年後になります。東日本大震災からの復興をテーマの一つにしていただけに、参加者の皆様には是非とも東日本大震災 10 年後のこのタイミングで開催される仙台に、来て見て感じてほしかった、というのが偽らざる気持ちです。

この稿では WEB 開催となったため幻と消えた企画を紹介したいと思います。

① サンドウィッチマンのライブ

サンドウィッチマンは伊達みきおさんと富澤たけしさん、お二人からなるお笑いコンビで、人気と実力を兼ね備えたトップリーダーとしてエンタメ界を牽引する存在です。総合医学会の打ち合わせでは、満場一致でサンドウィッチマンのお二人にライブ出演をご依頼することが決定しておりました。TV の収録等と予定が重ならない限り、出演 OK のご内諾も得られておりました。

サンドウィッチマンのお二人は震災復興の義援金活動でも有名ですが、お二人と東日本大震災のかかわりについてご紹介いたします。

2011 年 3 月 11 日、お二人は TBC 番組「サンドのぼんやり～ぬ TV」の収録で訪れていた気仙沼市場で被災しました。お二人はなんとか安波山に避難できましたが、津波被害と市街火災を目の当たりにすることになります。直後から被災者支援に本腰で取り組み、3 月 16 日には「“東北魂” 東北地方太平洋沖地震義援金口座」を開設、募金活動を開始しています。

お二人の活動を 2021 年 3 月 3 日の朝日新聞 DIGITAL で近藤咲子記者は次のように伝えています。

『サンドウィッチマンの「東北魂義援金」、総額約 5 億円に

東日本大震災の復興支援を続ける仙台市出身のお笑いコンビ「サンドウィッチマン」が 2 月 26 日、

宮城県庁を訪れ、義援金約 1,400 万円を「東日本大震災みやぎこども育英募金」に寄付した。震災遺児の奨学金などに使われるという。

サンドウィッチマンの 2 人は震災直後に「東北魂義援金」を開設。チャリティーライブなどで寄付を集め、東北を中心に計 4 億 9 千万円、宮城県には計 1 億 7 千万円を寄付した。

伊達みきおさんは「先週も、子どもさんが缶に入れたおこづかいをライブに持ってきてくれた。集まった金額を見ると、風化している気は全くしない。本当にありがたい」富澤たけしさんは「これからもできることを続けていきたい」と話した。

知事応接室で義援金の目録を受け取った村井嘉浩知事は「これほど継続して寄付してくださる方はいない。有効に活用したい」と話した。(近藤咲子)』

サンドウィッチマンの伊達さんは黒松小学校の卒業生であり、黒松の住人である私としては総合医学会への出演が決定した折には、町内会役員を務めていらっしゃるお父様にご挨拶に伺う予定でございました。ちなみに黒松小学校の南方には荒川静香さんの母校である台原小学校が、北方には羽生結弦さんが通われた七北田小学校が位置しています。滑りのゴールドメダリストに南北に挟まれた黒松出身の伊達さんですが、すばらない話芸を極め第一線で活躍し続けていらっしゃるの流石です。

② 東北六献祭

東北六魂祭は東北六県（県庁所在地）の代表的な夏祭りが一堂に会した催しで、東日本大震災の鎮魂と復興を願い、2011 年 7 月から各県持ち回りで 2016 年まで開催されました。2017 年からは「東北絆まつり」と名称を変え現在に至ります。

2011 年 7 月 16 日に仙台市で第 1 回目が開催された時は、人が溢れ大混乱でした。当日、私は出張

から帰仙したのですが、仙台駅のタクシー乗り場にはタクシーが一台もなく、地下鉄の出入り口は人が溢れ入場制限中。余りにも異様な光景に、重大な災害か事故が起きたのではないかと、とてつもなく不安な感情が湧き上がってきたことを記憶しています。

国立病院総合医学会では、「東北六献祭」と銘打って、東北六県の代表的な地酒を郷土料理を肴に一献また一献と嗜みながら、東日本大震災の復興の歩み、これまでとこれからを語り合いながら、交流の輪を広げて楽しんでいただく予定でした。

③ グルメ企画

仙台牛たんは宮城のブランド鮭「銀王」。はらこ飯は知名度が高く 1 年中味わうことができますが、10 月ははらこ飯が旬、旬の美味さを是非堪能していただきたいかったです。ちなみにホッキ飯も 1 年中味わうことができます（1 年ホッキと呼ぶらしい）。芋煮対決、宮城（豚肉・みそ味）VS 山形（牛肉・醤油味）、ラ・フランスも食べ逃がせません。秋田からはきりたんぼ鍋と食品衛生法の改定で絶滅の危機に瀕するいぶりがっこ等々、枚挙にいとまがありません。東北のローカルフードの数々で、生産者支援とともに参加者の皆様に口福をお届けしたかったです。

結びに

WEB 開催となった以上、準備期間を含め会期を終えるまでコロナウイルス感染者を 1 名も出してはいけないと肝に銘じておりました。十分な感染対策を実施して開催にご尽力いただきました実行委員の皆様、学会関係者の皆様、運営事務局の日本コンベンションサービス東北支社の皆様に深謝いたします。とりわけ事務局を務められた仙台医療センターの皆様には大変お世話になりました。この場をかりて心からお礼申し上げます。